

「おかしいなあ。」

子供たちは、信じられないといった顔です。

「ようし、また取って行くべ。」

「おれ首取つからな。」

「おれ手取る。」

「こつちかわの手おれ取る。」

などといって、またバラバラにして帰っていききました。

子供たちは、てんでに家に帰って、昼間あった不思議な話をしました。そして、またバラバラにして来たと教えました。

次の朝早く、それは不思議なことがあるもんだと、わざわざ見に、こつそり、子供の親たちが出かけました。不思議な人形のようなもののあるところに行つて見ると、ムラ中の人が、集まっていました。